

事業概要【住んでみたい、そして住み続けたい「西都市の暮らし」魅力発信・移住定住促進事業】

推進当初

申請者	宮崎県西都市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	292,232千円 (69,510千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	- 本市の持つ「住みよさ」という強みを生かした移住施策に取り組む - 市民生活の中心となる市街地の活性化により、住みよさの魅力を高め、将来にわたって住み続けたいと思える西都市づくりを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1.移住・関係人口増加シティプロモーション事業 (1) シティプロモーション推進事業 (委託料) 22,022千円 市が専門業者等にシティプロモーションアドバイザー業務を委託。まちづくり会社に対するアドバイザーによるアドバイスやサポートは継続するものの、まちづくり会社主導で事業を実施する。 (2) ワンストップ移住・定住支援センター運営事業 (委託料) 6,799千円 移住・定住支援センターを運営するとともに、移住相談会に出展する。 2.共創によるまちづくり推進事業 (1) まちのリノベーション事業 (委託料) 14,707千円 実務的な能力育成を図るまちづくり人材育成業務とまちづくり実践のコーディネート業務を委託し、参画者の能力育成から事業実践までを伴走支援することにより、まちづくり人材の育成を図る。 (2) まちのイノベーション事業 (委託料) 25,982千円 ワンストップ創業・事業承継支援センターの運営による創業・事業承継支援の推進やオープンスポット利活用促進事業としてチャレンジショップ及びフリースペースの運営による賑わいの創出を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業による移住者数 (+430人) ②事業によるさいとファンクラブ会員数 (+2,100人) ③事業により増加した中心市街地の歩行者数 (+534人) ④支援事業による創業数 (+10件)		関連URL 調整中

申請者	宮崎県西都市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	112,272千円（51,414千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	観光分野	
目的（効果）	観光ターゲットを見定め、観光誘客と観光消費につながる環境整備や設計を行うとともに、地域資源の発掘や開発、磨き上げを行うことで付加価値を高め、外貨を稼ぐ仕組みを作り、地域の課題解決や地域経済の活性化につなげることを目指す。			
事業概要・ 主な経費	1.観光コンテンツ開発事業 委託料 19,602千円 マーケティング調査により絞り込んだターゲットに訴求する体験メニューを中心とした観光コンテンツの発掘や磨き上げを行う。 2.「日本版DMO登録制度」登録のための地域DMO立ち上げに向けた取組 委託料 2,640千円 「日本版DMO登録制度」登録に向けて、市内関係者へのDMOについての勉強会などを開催し、DMO設立に向けた基盤づくりを行う。 3.地域商社事業 委託料 12,672千円 マーケティング調査により絞り込んだターゲットに訴求する、西都市の豊かな農畜産物等を活用した地域産品となり得る地域資源の発掘や磨き上げを行う。 4.観光情報一元化・発信強化事業 委託料 5,500千円 デジタル化に対応した効果的な情報発信を行うため、情報の一元化及び「見える化」による発信強化を図る。 5.ブランディング事業 委託料 11,000千円 誘客、観光コンテンツ及び地域産品開発戦略に基づき、ブランディングを行う。			
KPI	①観光客一人あたりの消費額（+985円） ②開発した観光コンテンツの売上額（+1,500千円） ③開発した地場産品の売上額（+1,500千円） ④「西都原ガイダンスセンターこのはな館」来館者数（+1.7万人）		関連URL	調整中

申請者	宮崎県西都市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	314,979千円
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	特別史跡内に所在する観光拠点施設を再整備し、地元産農畜産物を使用した飲食メニューや地域商品の開発・提供を行うとともに、コワーキングスペースやWi-Fi環境、ガイドンスゾーンの整備、観光情報の発信・案内の強化・充実により観光客の満足度を高め、市内周遊性の向上を図り、地域経済の活性化を目指す。		
整備内容・利活用方策	観光客が多い花季シーズン中に飲食物の提供がスムーズに行えるようにカウンターを設置し、Wi-Fi環境も整備するなど、観光客のニーズに合ったサービスや機能を備えた施設とする。また、コワーキングスペースやイベント等に活用する交流スペース、ガイドンスゾーンの整備により、花季シーズン以外の利用を促進し、観光誘客や観光消費の拡大を図る。さらに、デジタル技術を活用した情報発信等により市内周遊性の向上を図る。 ・施設整備費 222,511千円 ・外構工事費（樹木剪定・伐採含む） 46,592千円 ・Wi-Fi整備、デジタルサイネージ設備設置 10,131千円 ・その他設備等 13,252千円 ・その他事業費（備品購入費等） 22,493千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+26.7億円） ②西都原ガイドンスセンターこのはな館来館者数（+2.2万人） ③西都市観光入込客数（+12.21万人） ④観光消費による地域への経済波及効果（+35.89億円）	関連URL	調整中